

授業科目	マイノリティを生きる【講義】		開講時期	後期
担当教員	宇治 和貴・赤枝 香奈子・五十嵐 ゆり		単位	2
授業の目的と概要	<p>現在社会のなかで「マイノリティ」と呼ばれる人々がいる。これらの人々は「マイノリティ」ゆえの様々な苦勞を強いられている。また、同時に苦しみだけではなく喜びも感じている。これらの人々を正しく理解し、ともに生きていく同朋としての認識を育てることを目的とする。</p> <p>ここでは特に「マイノリティ」と呼ばれる当事者の方の話や関係者の話を聞き、自分自身の問題や社会の問題と関連付けながら考察を深めていく。</p>			
到達目標	<p>マイノリティについて正しく理解し説明することができる。</p> <p>自分自身と関係付けて、その人々を同朋と考えることができる。</p> <p>マイノリティの人々の現在置かれている社会的な立場を理解できる。</p> <p>無意識のうちに差別構造を支えている、自分の存在にくづくることができる。</p> <p>「包摂」をうたわねばならない「排除」を前提とした社会の在り方に気づくことができる。</p>			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>(1) -①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」</p> <p>(2) -⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」</p> <p><授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p> <p>担当教員の中には仏教福祉活動の実務経験のある者がおり、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回	オリエンテーション・今回の講師詳細について	感想レポート		
第2回	マイノリティとはなにか？	感想レポート		
第3回	障害について（1） 障害とは	感想レポート		
第4回	障害について（2） 発達障害	感想レポート		
第5回	当事者の話（1）ダイバーシティという考え方について	感想レポート		
第6回	当事者の話（2）肢体不自由の方	感想レポート		
第7回	当事者の話（3）弱視の方	感想レポート		
第8回	ソーシャルインクルージョンについて	感想レポート		
第9回	当事者の話（4）LGBTについて、セクシュアルマイノリティ当事者の方	感想レポート		
第10回	当事者の話（5）トランス男性として生きる先輩	感想レポート		
第11回	支援者の話（1）同成婚訴訟などの弱者支援の弁護士さん	感想レポート		
第12回	差別について	感想レポート		
第13回	支援者の話（2）平和学を研究している方	感想レポート		
第14回	支援者の話（3）ホームレス支援をしている方	レポート		
第15回	まとめ	レポート		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	80％ テーマについては講義中にお知らせします			
小テスト等	なし			
成果発表	なし			
受講態度他	20％			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	<p>当事者や関係者のお話を聞くことが多くなると思いますが、ここでのお話は他では話さないでください（守秘義務）。また3人で担当しますが外部から話していただける方との関係でシラバス通りに進まないことが予想されます。</p> <p>講師の順番などについての詳細は、初回のオリエンテーション時に紹介します。</p> <p>講義に来てくださる当事者の方の都合で、予定が変更になることもあります。ご了承ください。</p>			
教科書	なし			
指定図書	「はじめて学ぶLGBT―基礎からトレンドまで―」石田仁 ナツメ社			
参考図書	「教養のためのセクシュアリティ・スタディーズ」風間孝・河口和也・守如子・赤枝香奈子 法律文化社			
オフィスアワー	各教員の他科目のシラバスを参照	メールアドレス	各教員の他科目のシラバスを参照	

授業科目	メディアと文化【講義】		開講時期	前期
担当教員	小山 昌宏		単位	2
授業の目的と概要	1. メディアと文化に関する基礎知識を、映画、ドラマ、アニメ、音楽、新聞、電話、テレビなど具体例を通して身につける 2. メディアの基礎理論、インターネットの理論を踏まえ、メディアリテラシーを身につけ、メディアセキュリティの考え方を身につける 3. 具体例を検証することにより、メディア、マスメディアの基礎理論を活きた方法として活用することができる 4. 具体的には、毎回の講義時リアクションペーパー（質疑応答：出席表）による復習（振り返り）を活かし、学びを深め（思考力の獲得）、期末レポート作成に活かす			
到達目標	1. メディア一般、個別メディアの機能と社会的影響力について、説明することができる 2. 各メディアの諸問題点を発見し、それについて掘り下げ、考えることができ、その内容について報告することができる 3. メディアとインターネットとの関係について説明ができ、おこりうるメディア環境の変化について説明することができる 4. リアクションペーパー内容の振り返りにより、他者の意見を取り入れ、自分の知識を再形成することができる			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	(2) -④社会の多様な問題を発見し、解決することができる。「問題解決力」 (2) -⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」 <授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。 この科目は出版関係企業で実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。 関連科目：コンテンツビジネス論			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回	メディアとは何か？ ～映画：F・ラング「メトロポリス」とチャップリン「モダン・タイムス」を題材に	予習として2作品いずれかを視聴しておく		
第2回	メディアの発展とその機能 ～メディアの進化と身体コミュニケーション	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第3回	地域文化とメディア ～能年玲奈の「あまちゃん」と地域振興	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第4回	電話と声 ～郷ひろみ「よろしく哀愁」からRADWIMPS「携帯電話」へ	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第5回	新聞メディアとその役割 ～娯楽と報道の「間」に揺れるその未来	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第6回	放送メディアと文化 ～その「公共性」と社会的役割について	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第7回	視覚と映像 ～機械の目と人間の目が織りなす映像の基本ルール	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第8回	マスメディアと情報操作 ～「ナチス情報戦」「火星人類来」から「ケネディ暗殺」へ	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第9回	アニメ・パッシングとオーディエンス ～血・性・暴力表現はいかにしてアニメから排除されるか	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第10回	2. 5次元ミュージカルの映像技術の基礎 ～「テニスの王子さま」から「ハイキュー！」まで	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第11回	聖地巡礼とコンテンツ消費 ～「時かけ」「らき☆すた」から「炎の蜃気楼」「水木しげるロード」へ	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第12回	アイドル論の基礎と歴史 ～ジャズニーズ、AKB、モー娘。を中心に	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第13回	コンテンツビジネス論 ～アニメコンテンツとクロスメディア 「ポケモン」と「妖怪ウォッチ」の差とは？	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第14回	メディア・リテラシーとセキュリティ ～テレビCM、ネット広告の罠とリテラシー	前回授業の振り返り・配布資料、デジタル資料（筑女ネット）を復習する。		
第15回	情報メディアの編集と生成 ～学際的メディア編集とは何か？	期末レポートテーマを確定する。		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	70％（期末レポート） 30％（出席シート：リアクションペーパーの内容）			
小テスト等	なし			
成果発表	なし			
受講態度他	第1回目の授業時に受講の心得についてお話しします			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	1. 教科書はありません レジュメ（配布資料）は各回配布いたします 2. この授業では、毎回、リアクションペーパー内容をまとめ、要点整理の上、次回授業のはじめに振り返り紹介いたします（復習） 3. リアクションペーパーと振り返りによる学習効果を、期末レポート作成に活かします 4. 期末レポート概要については第10回目の授業で、内容、提出日、評価基準について提示します			
教科書	なし			
指定図書	なし			
参考図書	授業内で参考文献一覧を提示します			
オフィスアワー	水曜日の昼休み、またはメールにて相談	メールアドレス		

授業科目	国際社会と日本【講義】		開講時期	前期
担当教員	須藤 遙子		単位	2
授業の目的と概要	現在、国際社会のなかで日本が直面している問題やトピックを時事ニュースを通して考えていく。回ごとに1つのテーマを決めて解説・考察する。毎回順番にその週の国際ニュースを発表してもらう。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の現状をグローバルな観点から考察できる。 ・多角的な視野で情報を分析できる。 ・自分の考えを文章で表現する。 			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	(2) -⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」 <授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。 この科目は放送局で実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回	オリエンテーション。授業の進め方の説明。	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第2回	メディアとは。	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第3回	911, 311後の世界	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第4回	東アジア近現代史1：日本と朝鮮半島	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第5回	東アジア近現代史2：日本と中国	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第6回	北朝鮮ミサイル問題1：自衛隊と憲法	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第7回	北朝鮮ミサイル問題2：アメリカと沖縄	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第8回	北朝鮮ミサイル問題3：島嶼部の現実	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第9回	時事ドキュメンタリー学習1	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第10回	パレスチナ問題	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第11回	LGBT	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第12回	オリンピック	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第13回	【特別講義】南京大虐殺資料館について 講師：王曉葵先生（南方科技大学教授）	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第14回	東アジアの中の日本。	ネットやテレビでニュースをチェックする。		
第15回	世界の中の日本。まとめ。	復習。		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	0％			
レポート	60％（レポート）			
小テスト等	0％			
成果発表	20％（フォーラムへの投稿含む）			
受講態度他	20％（理科度チェック含む）			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	この授業は遠隔で行います。出席は、各回の「理解度チェック」への回答で確認します。質問は全員が共有できるよう、筑女ネット「質問箱」をお願いします。その他、細かいルールに関しては、第1回目のオリエンテーションで説明します。			
教科書	なし。適宜指定します。			
指定図書	なし。			
参考図書	授業ごとに指定します。			
オフィスアワー	火曜10-12時。	メールアドレス		

授業科目	日本国憲法【講義】		開講時期	前期
担当教員	高木 佳世子		単位	2
授業の目的と概要	1. 教育者・保育者を目指す者として憲法を学ぶ意義を意識する。 2. 人権規定についての概要と代表的な裁判例について学ぶ。 3. 統治機構の役割と三権相互の関係について検討する。 4. 平和主義、憲法改正について現在の議論状況を把握する。			
到達目標	1. 「人権」、近代立憲主義を前提とした「憲法」の意味を説明できる。 2. 日本国憲法の重要な条文の内容を説明できる。 3. 現実の社会で起きている事象に憲法の観点をあてはめ、考察することができる。			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	(1) -①自己の良心と社会の規範・ルールに従って行動できる。「倫理観・人間観」 (2) -⑤人類の文化・社会と自然への理解を背景として、物事を考察することができる。「幅広い視野」 <授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。 この科目は弁護士としての実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回	教育者・保育者となる上で憲法を学ぶ意義	3限：テキスト「はじめに」、4限：テキスト第1章を予習		
第2回	日本国憲法の基本原理	3限：序章、4限：第2章を予習		
第3回	人権の享有主体／公共の福祉／私人間効力	3限：第1章1・第3章1 4限：第3章を予習		
第4回	幸福追求権	3限：第2章1 4限：第4章を予習		
第5回	法の下での平等	3限：第3章2 4限：第5章を予習		
第6回	精神的自由権（1）思想・良心の自由、信教の自由	3限：第1章3、4 4限：第6章を予習		
第7回	精神的自由権（2）学問の自由・表現の自由	3限：第1章2・第2章2 4限：第7章を予習		
第8回	経済的自由権	3限：第4章1、2 4限 第8章を予習		
第9回	生存権／子どもの貧困	3限：第4章3 4限 第9章を予習		
第10回	教育を受ける権利／労働基本権	3限：第1章5、第3章4 4限：第10章を予習		
第11回	国会	3限：第5章1、2 4限：第12章1～3を予習		
第12回	内閣／財政／地方自治	3限：第5章3、第8章1～3 4限：第12章4,5を予習		
第13回	裁判所と違憲審査権	3限：第6章1～3 4限：第13章を予習		
第14回	ハンセン病問題に関する映像視聴	感想文作成		
第15回	平和主義／憲法改正の手続きと限界	3限：第7章1～2 4限：第14章を予習		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	100%			
小テスト等	なし			
成果発表	なし			
受講態度他	0%			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	やむをえない欠席、遅刻の場合は、その回の講義内容を友人や教員に尋ねるなど、自主的に情報を補い学修するようにしてください。			
教科書	3限（初等）：大林啓吾・小林祐紀編著『ファーストステップ教養講座 ケースで学ぶ憲法ナビ』（みらい、2015年） 4限（幼保）：橋本勇人編『保育と日本国憲法』（みらい、2018年）			
指定図書	中西新太郎・箕輪明子編著『〔第2版〕キーワードで読む現代日本社会』（旬報社）			
参考図書	工藤達朗編『やわらかアカデミズム・（わかる）シリーズ よくわかる憲法〔第2版〕』（ミネルヴァ書房、2013年）			
オフィスアワー	水曜4限	メールアドレス		